



龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツオ

UNITE FOR GOOD	2025-26 年度 会長 伊藤充弘 幹事 神名大典 会報イメージ・広報委員長 段 克史	例会: 毎週木曜日 12:30~13:30 龍野経済交流センター1階 事務局: 〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsunorc1@gmail.com
-------------------------------	-------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No.2 (3204号) 2025年(令和7年)7月10日(木) 晴

例会記録

点鐘	我らの生業
来客	なし
来訪会員	なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メークアップ	修正出席率
20	13	3	7	72.22%	5	2	85.71%

会長の時間 ●伊藤会長

参議院の選挙戦が始まっておりますが、市議会議員などの選挙と違って大変静かな日々を過ごすことが出来ています。真夏のセミではありませんが、連日の猛暑に加えていつもの選挙カーの騒音が重なると、かえって逆効果になるのかもしれません。

先日の新聞記事で、支持政党の野党第一党に「参政党」が躍進と出ていました。都議会選挙で一躍有名になったようですが、更に支持を伸ばしているようです。私はテレビをあまり見ないので、YouTubeの1分ほどの短い動画はちょくちょく見ます。最近は、選挙関連の動画が次々と出てきます。というのも、一度政治や選挙がらみの動画を見ますと関連するテーマの動画が出るようになっているからです。

家庭菜園動画や面白動画などに混ざって出でますので、ついつい見てしまっています。この報道を見て、そういえばYouTubeには参政党の動画が多かったように思います。短い動画ですし次の動画に変えるのも面倒なので、そのまま見ていることがよくあります。私のような人間が半分洗脳されたようになって、動画の内容が正しいと

思うようになって「支持政党は?」と聞かれたら、動画で見た政党名を言ってしまうようになっているのではないかと、実際に体験してみて思っています。

さらに動画は街頭演説の録画のようですが、政見放送のように特別に作ったものではなく、価値観の近い内容であれば共感してしまいやすいでしょう。これがインターネットの力なのかと、なるほどと感じた記事でした。今後の選挙の形はこのような広報形態が一般的になりそうです。

私は以前からオールドメディアはほとんど信用していません。お話をすることはあると思いますが、NHKも信用が出来ません。まだネットの方がましなところがありますが、真偽のほどを確かめずに信じるのはいかがなものかと思います。このことはオールドメディアにも同じことが言えます。彼らの商品は情報のはずです。その商品が不良品だと私たちのような会社は製品回収が義務付けられておりますが、彼らは訂正記事を小さく出せばそれで終わりです。

そのあたりの整備をせずしてネットの規制は難しいのではないかと思います。

①



クラブサービス部門担当委員会報告

クラブ奉仕委員会 ●一色委員長



1.委員会構成

今年度、クラブ奉仕委員長を勤めさせて頂きます一色でございます。1年間ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

クラブ奉仕委員会は、具体的にはどのようなことをする委員会なのかと色々調べてみると、クラブ内の運営や会員間の親睦を促進し、クラブの活性化を図るための重要な役割を担っていますとありました。

まずはその委員会構成でございますが、龍野クラブは会員数の減少もあり、本年度のクラブサービス部門は、会員増強委員会(片岡委員長)、親睦委員会(北村委員長)、例会委員会(永富委員長)、公共イメージ・広報委員会(段委員長)が設けられています。

本年度の龍野クラブはなんと、会員数20名での船出となります。片岡会員増強委員長の大活躍もありまして、幸いにも間もなく、女性会員2名、男

性会員1名がご入会予定となっておりますが、なかなか厳しい状況が続いている。何かの奉仕事業やクラブを運営する上でも、20名を切ると難しいと言われておりますが、そのギリギリラインとなっています。伊藤年度の目標会員数30人となっておりますので、そこを目指して、かつ伊藤会長の基本方針に沿って、各委員会の委員長との意見調整を図り、各委員会の活動計画の支援を行い、親睦と活性化に努めてまいります。

2.基本方針

(1)伊藤会長が重視する既存会員の満足度向上、会員が誇りを持てるクラブづくりを進めて、まずはクラブの充実を図っていきたいと思います。

(2)今年度は女性会員2名、男性会員1名の新会員がいらっしゃいますとの、片岡委員長が会員増強活動を強力に進められ会員数の増加が期待されますので、新しい会員の方に積極的にお声掛けを行い、ロータリー活動に慣れて頂けるよう、例会出席は元より、各行事への参加を促して行きたいと思います。

(3)クラブの充実と活性化を図り、伊藤会長が望む自然な形での会員増強に繋がるよう努めたいと思います。

会員増強委員会 ●片岡委員長



1.基本方針

例会ご招待を戦略的に行い会員10名/年度(純増)を必達目標とする。

費用と身体への負担の少ない正会員以外の会員(衛星会員(WEB会員)、家族会員(代理出席会員)など)制度を議論し、合意できた制度制定をおこない、退会者数の縮小と、正会員への滑らかな

移行、会員増強を図る。

2.活動内容

(1)入会勧誘者に対して、戦略的に例会に招待する。(招待状を発行する。例会参加者の食費・ネームプレートを準備する。1~3分のミニスピーチをお願いする。礼状および招待券を2枚郵送する。週報をメールで送る。

(2)西播磨ライオンズクラブと合同例会を開催する。

(3)正会員以外の会員制度制定など(衛生クラブの設立など)行う。

皆さまの人脈情報、お力添えをいただき、会長の会員増強目標の達成に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



1.基本方針

本年度の会長方針である「ロータリーをもっと身近に」をテーマに沿って、親睦委員会の運営を行います。

さまざまな活動や事業から、「学びと親睦の場」として会員相互の交流を深めていただき、当ロータリークラブの活性化を目指していきます。また、ロータリーの活動や魅力を広く発信し、奉仕の機会をより多くの方に提供することから新たな会員増強にもつなげていきたいと思います。

2.活動内容

(1)来客とビジターの接待

例会担当委員会 ●永富委員長



1.基本方針

毎週の例会に於いて、会長・幹事・SAA（例会担当兼務）と緊密に連携を取り、会員相互の親睦を一層深め、クラブの活性化を図り、有意義な例会の開催を基本方針として、例会の管理運営に努めます。

2.活動内容

①来客及びビジターの対応については、例会担当委員会と連携し、座席案内等の接遇を適切に行います。

②ゲストスピーカーは役員席に案内し、スピーチ終了後の粗品を贈り謝意を示します。また、後日に週報を添えてお礼状を送付します。

(2)会員相互の親睦

①月初めの例会に於いて、誕生日、結婚月、配偶者誕生日、会社創立月にあたる会員に記念品を贈り祝福します。

②会員及び家族の慶事には、クラブ規定に則って記念品を贈呈します。

(3)本年度の活動計画

①観月例会の開催（9月25日）

②クリスマス例会の開催（12月20日）

(4)会員家族との親睦

①家族親睦旅行の開催（4月予定）

②家庭集会の開催（6月18日）

(5)他クラブとの交流

会員に対して西播第2グループゴルフ大会及びIMへの参加を奨励します。

例会行事及び卓話予定表を作成し、臨機応変にプログラムの柔軟な管理に努めます。なお、例会行事・卓話予定は別紙の通りです。

①新入会員の卓話は、入会時の事情を考慮して柔軟に努めます。

②毎回の例会開催に、次のとおり努めます。

③会場設置や毎回の例会開催に必要な準備品や席次の決定。

④例会食事について、業者の都合等を考慮して対応。

⑤司会は委員会メンバーで順次担当します。

⑥創立記念例会（夜間）を2026年4月2日に開催します。

⑦会員数の減少による出席者の増減は、例会開催の活性化にも影響する事もあり、出来る限りの出席をお願いします。



本年度の公共イメージ、広報委員会は、伊藤会長が掲げられております『ロータリーをもっと身近に』をテーマとして事業に取り組むこととします。

基本方針としまして、毎週木曜日に開催される例会の内容と各委員会活動の報告を週報として発

行し、会員と関係者に配布します。

また、ホームページ、SNSを通してクラブの活動を広報し、当クラブの公共イメージの向上を目指します。

活動内容としまして、週報については、本年度も発行業務を継続して行います。

ホームページについては、新たにホームページを作成しまして、一人でも多くの方に見ていただけます様、管理・運営を致します。

今年度、新たに Facebook のアカウントを作成し、より細かな情報発信をすることで、ロータリークラブの会員をはじめ多くの方々へ身近に感じていただけるよう、取り組んで参ります。